

スポーツ・レクリエーションに関するアンケート調査結果

地域スポーツ課

1 調査の目的

県では、今後のスポーツ推進施策の参考にするため、運動やスポーツについて皆さんのご意見、ご意向などを伺いました。

2 調査対象など

調査対象：県政モニター679人（うちインターネットモニター389人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成28年6月17日～7月8日

回収結果：581人（回収率：85.6%）

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100パーセントにならない場合があります。

3 結果概要

○運動・スポーツの実施状況について

「この1年間に運動、スポーツをした」は87.3%となっており、内容としては「ウォーキング」が63.2%と最も高くなっている。

運動・スポーツをした目的として、「健康・体力づくり」が69.2%と最も高く、次いで「運動不足解消」が57.5%、「楽しみ・気晴らし・ストレス解消」が54.7%となっている。

また、この1年間に運動やスポーツをした頻度について、「週3日以上」が24.6%、「週1～2日」が23.2%となっている。20歳以上の成人における週1日以上の実施率※は48.2%となっている。

※スポーツ実施率とは、週に1日以上の実施者数+週に1～2日の実施者数 ÷ 有効回答者数 × 100

○スポーツボランティア活動について

「この1年間でスポーツに関するボランティアを行った」は定期的・不定期に行った人をあわせて17.0%となった。どんなきっかけがあればボランティア活動を行うかは「居場所・役割・生きがい」が47.1%、「出会い、交流の場」が46.9%、「好きなスポーツの普及・支援」が44.7%、と高く、一方、「しない、できない」も9.1%あった。

○総合型地域スポーツクラブについて

総合型地域スポーツクラブについて、「全く知らない」が59.6%と最も高くなっている。「クラブの会員である」「よく知っている」「聞いたことがある」は合わせて39.6%となっている。

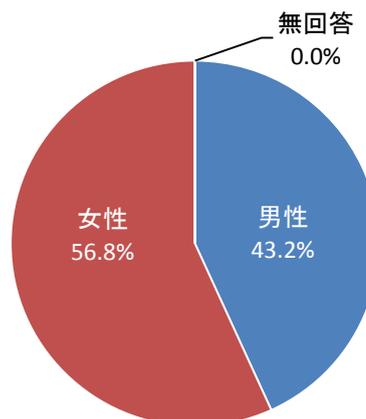
○スポーツを推進するための県の施策について

県民が地域におけるスポーツ活動に今以上に关われるようにするため、県が力を入れるべき施策について、「地域クラブやサークルの育成」が42.9%と最も高くなっている。

4 回答者の属性

(1) 性別

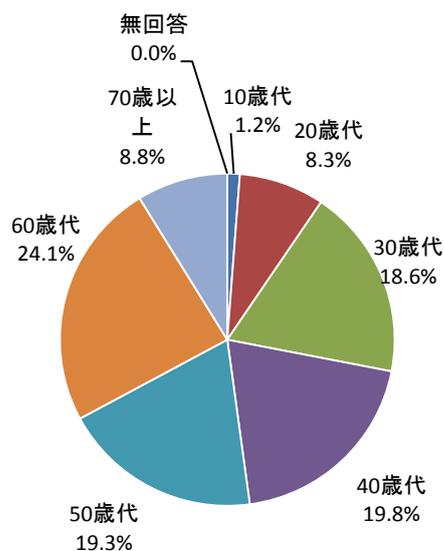
	人数(人)	割合(%)
男性	251	43.2%
女性	330	56.8%
無回答	0	0.0%
計	581	100.0%



(2) 年代別

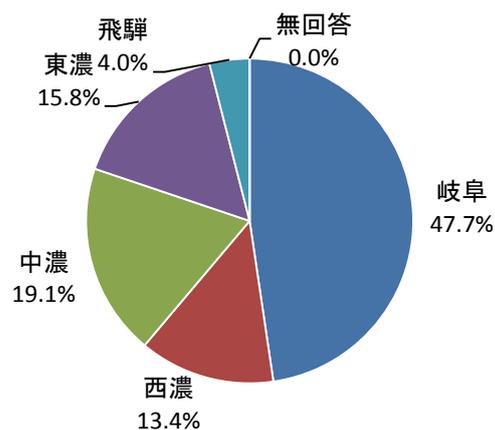
	人数(人)	割合(%)	実施率用
10歳代	7	1.2%	/
20歳代	48	8.3%	48
30歳代	108	18.6%	108
40歳代	115	19.8%	115
50歳代	112	19.3%	111
60歳代	140	24.1%	137
70歳以上	51	8.8%	50
無回答	0	0.0%	/
計	581	100.0%	569

※実施率用人数は、5・問2に回答した人数



(3) 居住圏域別

	人数(人)	割合(%)
岐阜	277	47.7%
西濃	78	13.4%
中濃	111	19.1%
東濃	92	15.8%
飛騨	23	4.0%
無回答	0	0.0%
計	581	100.0%

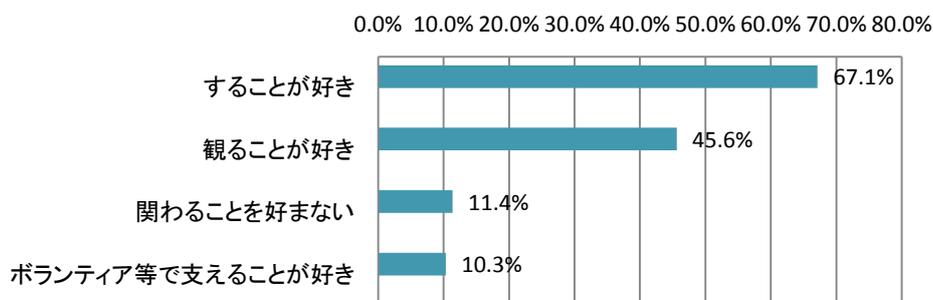


5 調査結果

問1 スポーツやレクリエーション（ラジオ体操や美容体操やストレッチ、散歩やウォーキング、釣り、室内運動器具を使っの運動を含む）にどのように関わることが好きですか。

	人数(人)	割合(%)
することが好き	390	67.1%
観ることが好き	265	45.6%
関わることを好まない	66	11.4%
ボランティア等で支えることが好き	60	10.3%
計	781	

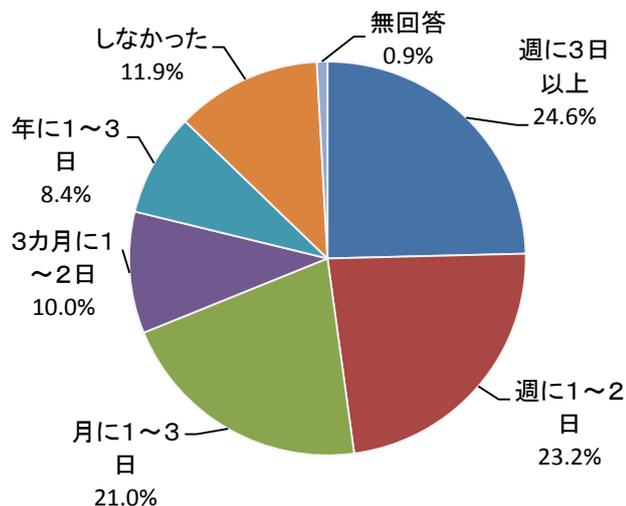
(複数回答/回答者581人)



問2 この1年間にスポーツやレクリエーション（ラジオ体操や美容体操やストレッチ、散歩やウォーキング、釣り、室内運動器具を使っの運動等を含む）をした頻度は、どれくらいになりますか。

	人数(人)	割合(%)	実施率用
週に3日以上	143	24.6%	141
週に1~2日	135	23.2%	133
月に1~3日	122	21.0%	
3カ月に1~2日	58	10.0%	
年に1~3日	49	8.4%	
しなかった	69	11.9%	
無回答	5	0.9%	
計	581	100.0%	274

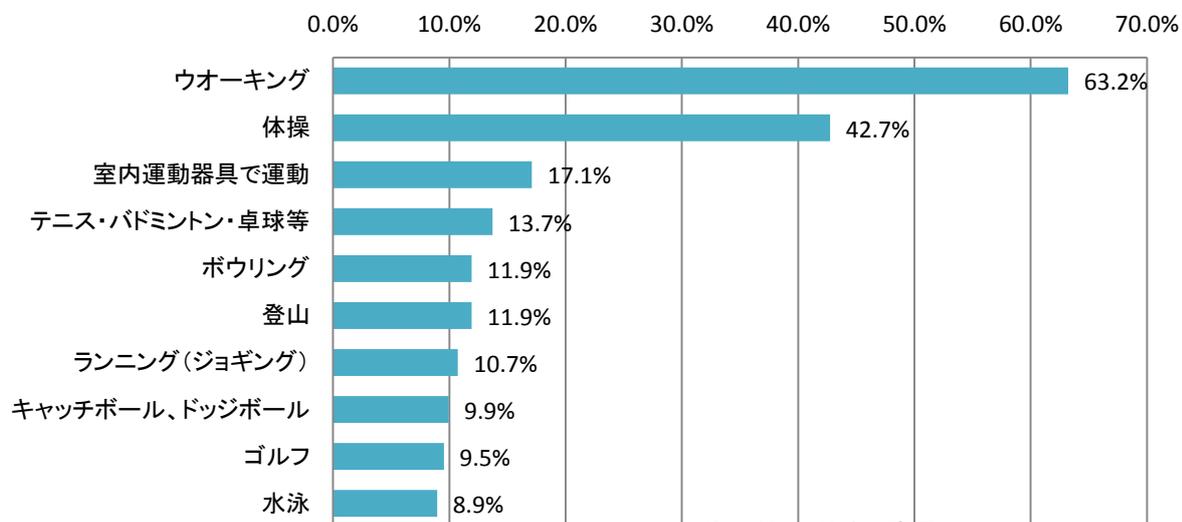
※10歳代で週3日以上、週1~2日に回答しているのは計4名



問3 (問2で1～5のいずれかと答えた方)

どんな運動やスポーツやレクリエーションをしましたか。(複数回答/回答者503人)

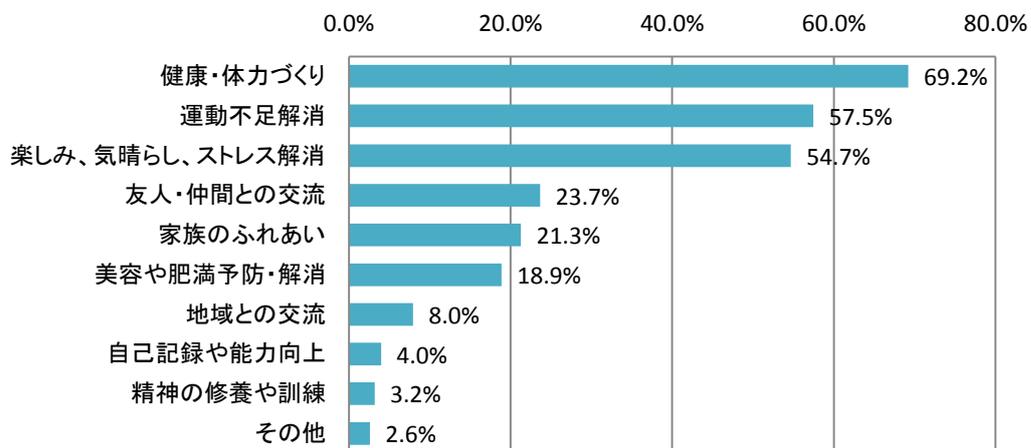
	人数(人)	割合(%)
ウォーキング	318	63.2%
体操	215	42.7%
室内運動器具で運動	86	17.1%
テニス・バドミントン・卓球等	69	13.7%
ボウリング	60	11.9%
登山	60	11.9%
ランニング(ジョギング)	54	10.7%
キャッチボール、ドッジボール	50	9.9%
ゴルフ	48	9.5%
水泳	45	8.9%
サイクリング等	39	7.8%
ニュースポーツ(ゲートボールなど)	37	7.4%
スキー(スノーボード)	34	6.8%
ボート等	34	6.8%
その他	34	6.8%
キャンプ	32	6.4%
ハイキング等	30	6.0%
バレーボール・バスケットボール等	27	5.4%
野球等	23	4.6%
ダンス	19	3.8%
サッカー	15	3.0%
弓道・アーチェリー	6	1.2%
スケート	4	0.8%
陸上競技	2	0.4%
柔道等	1	0.2%
グライダー等	0	0.0%
計	1,342	



※上位10位まで表示

問4 (問2で1～5のいずれかと答えた方)
 スポーツやレクリエーションをしたのはどのような目的からですか。
 (複数回答/回答者503人)

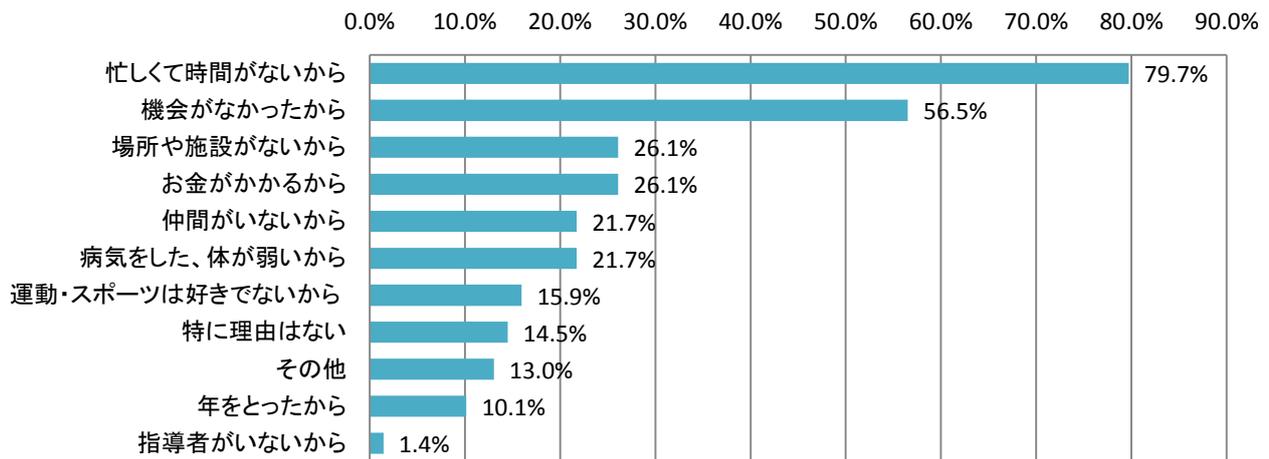
	人数(人)	割合(%)
健康・体力づくり	348	69.2%
運動不足解消	289	57.5%
楽しみ、気晴らし、ストレス解消	275	54.7%
友人・仲間との交流	119	23.7%
家族のふれあい	107	21.3%
美容や肥満予防・解消	95	18.9%
地域との交流	40	8.0%
自己記録や能力向上	20	4.0%
精神の修養や訓練	16	3.2%
その他	13	2.6%
計	1322	



問5 (問2で6と答えた方)

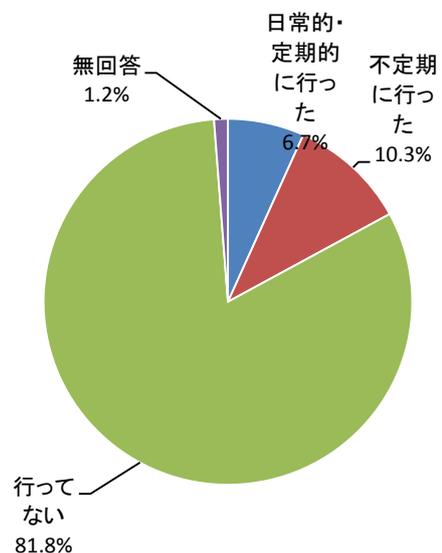
この1年間に、スポーツやレクリエーションをしなかったのはどのような理由からですか。
(複数回答/回答者69人)

	人数(人)	割合(%)
忙しくて時間がないから	55	79.7%
機会がなかったから	39	56.5%
場所や施設がないから	18	26.1%
お金がかかるから	18	26.1%
仲間がないから	15	21.7%
病気をした、体が弱いから	15	21.7%
運動・スポーツは好きでないから	11	15.9%
特に理由はない	10	14.5%
その他	9	13.0%
年をとったから	7	10.1%
指導者がいないから	1	1.4%
計	198	



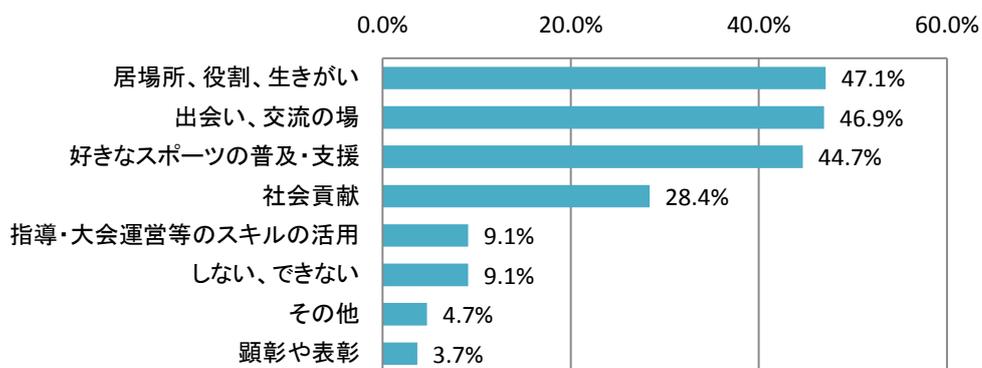
問6 この1年間にスポーツやレクリエーションの指導や大会運営などのボランティア活動を行いましたか。

	人数(人)	割合(%)
日常的・定期的に行った	39	6.7%
不定期に行った	60	10.3%
行ってない	475	81.8%
無回答	7	1.2%
計	581	100.0%



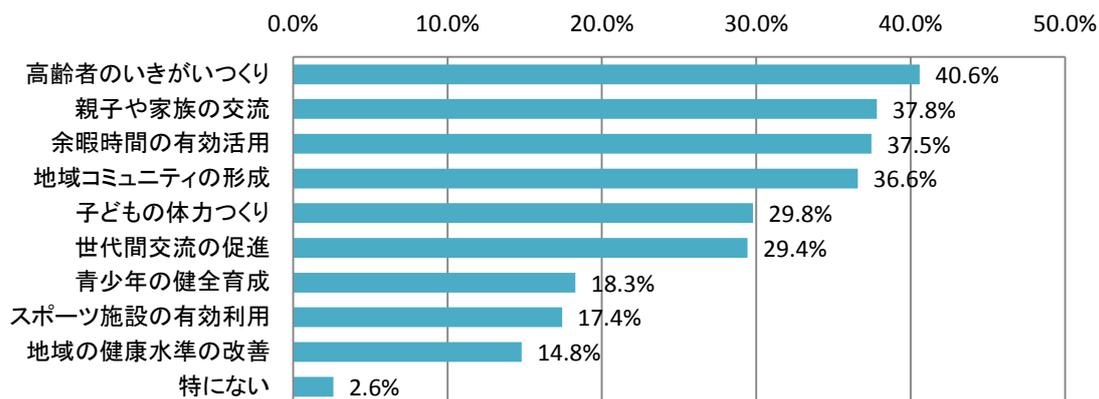
問7 どんなきっかけや動機があればボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか。
 (複数回答/回答者571人)

	人数(人)	割合(%)
居場所、役割、生きがい	269	47.1%
出会い、交流の場	268	46.9%
好きなスポーツの普及・支援	255	44.7%
社会貢献	162	28.4%
指導・大会運営等のスキルの活用	52	9.1%
しない、できない	52	9.1%
その他	27	4.7%
顕彰や表彰	21	3.7%
計	1106	



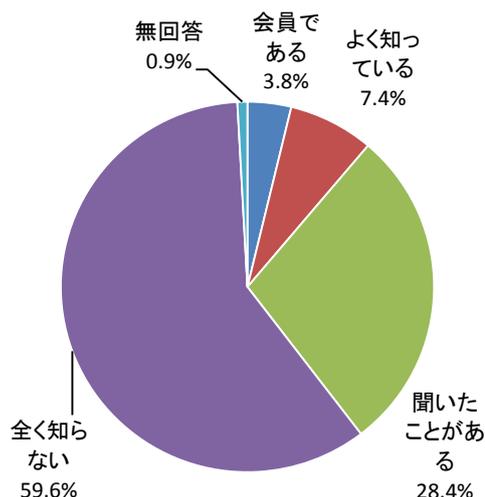
問8 地域におけるスポーツやレクリエーションの振興にどのような効果を期待しますか。
 (複数回答/回答者574人)

	人数(人)	割合(%)
高齢者のいきがいつくり	233	40.6%
親子や家族の交流	217	37.8%
余暇時間の有効活用	215	37.5%
地域コミュニティの形成	210	36.6%
子どもの体力づくり	171	29.8%
世代間交流の促進	169	29.4%
青少年の健全育成	105	18.3%
スポーツ施設の有効利用	100	17.4%
地域の健康水準の改善	85	14.8%
特にない	15	2.6%
計	1520	



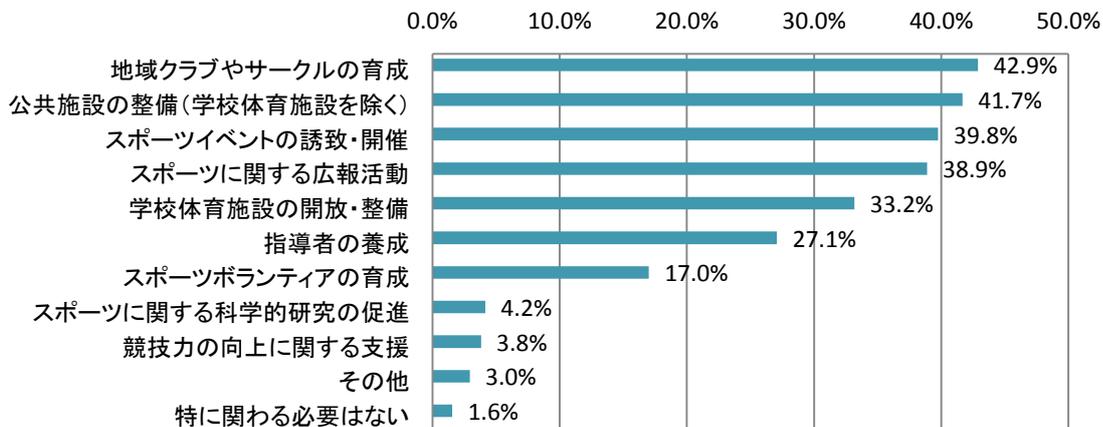
問9 総合型地域スポーツクラブを知っていますか。

	人数(人)	割合(%)
会員である	22	3.8%
よく知っている	43	7.4%
聞いたことがある	165	28.4%
全く知らない	346	59.6%
無回答	5	0.9%
計	581	100.0%



問10 県民が地域におけるスポーツやレクリエーション活動に、今以上に関わる事ができるよ
 するためには、どのような施策に力を入れると良いと思いますか。
 (複数回答/回答者576人)

	人数(人)	割合(%)
地域クラブやサークルの育成	247	42.9%
公共施設の整備(学校体育施設を除く)	240	41.7%
スポーツイベントの誘致・開催	229	39.8%
スポーツに関する広報活動	224	38.9%
学校体育施設の開放・整備	191	33.2%
指導者の養成	156	27.1%
スポーツボランティアの育成	98	17.0%
スポーツに関する科学的研究の促進	24	4.2%
競技力の向上に関する支援	22	3.8%
その他	17	3.0%
特に関わる必要はない	9	1.6%
計	1457	



問 1 1 スポーツやレクリエーションの推進に関するご意見や感想などがあればお聞かせ下さい。

○施設に関すること

- 市町村(合併後同じ市でありながらも含む)によってスポーツ無料施設の「ある」、「ない」の格差がある。
- 県の施設を積極的に格安で提供してほしい。スポーツ施設の使用料金が高いと感じる。
- 既存の施設の修繕や備品の整備をしていただきたい。
- 夜でも安心してウォーキング(ランニング)できる公園等の整備をお願いしたい。
- 体育施設も休日や平日夕方のような人が集まりやすい時間帯は人気が高く、後発の団体が活動場所を確保するのが難しくなっている。施設の数の充実を期待したい。
- 100円くらいの低価格でスポーツジム等を貸し出し、気軽に運動できる場所を作ってほしい。
- メモリアルセンターなど、立派な競技施設があるにも関わらず、なかなか自由に使うことができない環境にあるのではないかな。

○機会の提供に関すること

- 介護予防の側面から、中高年が気軽に参加できるスポーツやレクリエーションの場を増やしてほしい。
- 小さな子連れで参加できるものがあれば良い。
- やりたくてもやりたいものがない、場所も少ない。体験ができるところが少なすぎる。
- メジャーなスポーツからマイナーなスポーツまで幅広く紹介し、子どもたちに選択の場を与えてほしい。
- 有名スポーツ選手を呼び、交流の場を作ってほしい。
- 愛知県に比べ、やりたいスポーツができる環境が少ない。

○各年代におけるスポーツ実施に関わること

- 異年齢でも参加できるイベントやレクリエーションが増えてくると良い。
- スポーツを行っていない世代を中心にPRすることで、意識の向上につなげる事が必要である。
- 低年齢で興味をもつようなスポーツをPRすべきでないか。
- 高齢者の健康保持に役立つメニューに興味があり、機会を見て参加したい。
- 地域にある児童公園等に高齢者を対象とした健康遊具を設置することが求められるのではないかなと思う。

○県の施策に関すること

- スポーツは安全で不安のない町づくりがあってこそだと思う。
- ぎふ清流ハーフマラソンを毎年楽しみにしている。
- 「使用者の負傷」や「訴訟」を恐れて、推進を疎かにしないようにしてもらいたい。
- 広報などでもっとPRして頂けるとうれしい。

○総合型地域スポーツクラブについて

- 総合型地域スポーツクラブの存在を知らせ、広く普及してほしい。
- 総合型地域スポーツクラブと単位別体育協会と二重で加入させられている場合がある。ひとつのスポーツしか興味がなく体育協会にのみ加入すればいいのに、スポーツクラブにも加入させられている実態がある。
- 総合型地域スポーツクラブについては知らなかった。具体的な活動内容について確認したいと思う。

○ボランティアについて

- 指導者やボランティアの養成は必要だが、それをイベント等の運営に参画してもらえるような、スポレク等の運営団体とのマッチングが必要と思う。
- レクリエーションインストラクターの資格をとったのに、更新するのにお金がかかり、せつかくボランティアのために取得してもお金がかかるので、更新をやめた。資格を更新するときの更新料をなくしてほしい。

○その他

- 初心者が入ることが困難な環境にある。既存のサークル等では、すでに、仲間ができてしまっている。
- スポーツの苦手な人は自ら動きません。まず参加者を増やすために認知度を上げていくべき。
- 何か自分の生活に猛省を迫られるアンケートでした。このようなアンケートが広く県民の目に触れ、「私のような不健康的生活者の気づき」になるとよいと思う。
- 企業に労働時間を守らせるように指導すること。
- 会社組織をもっと有効に使えないだろうか、地元の大小の会社が地域に親密・密着化するチャンスでは。